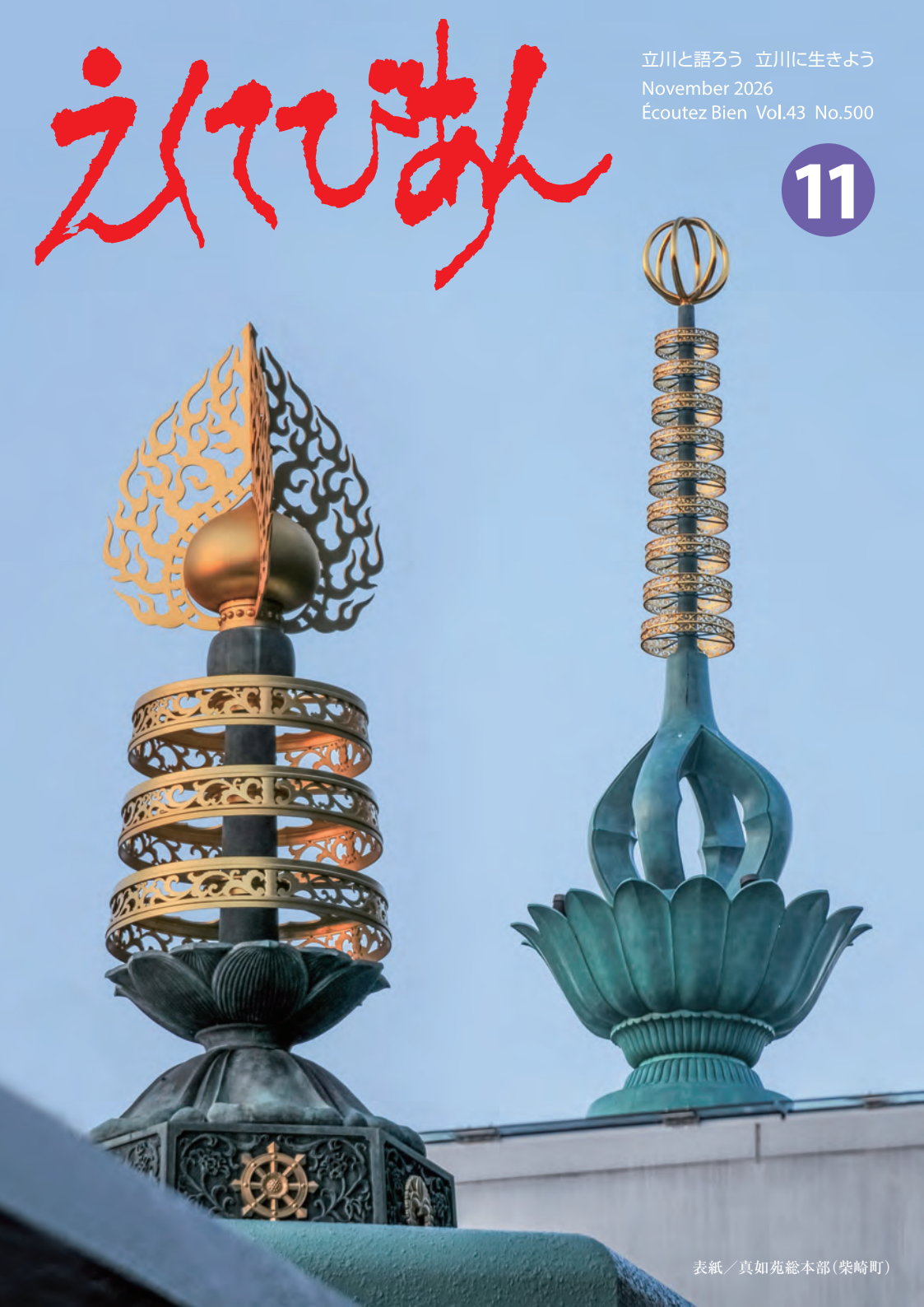
えくてびあん

立川と語ろう　立川に生きよう

November 2026
Écoutez Bien Vol.43 No.500

11



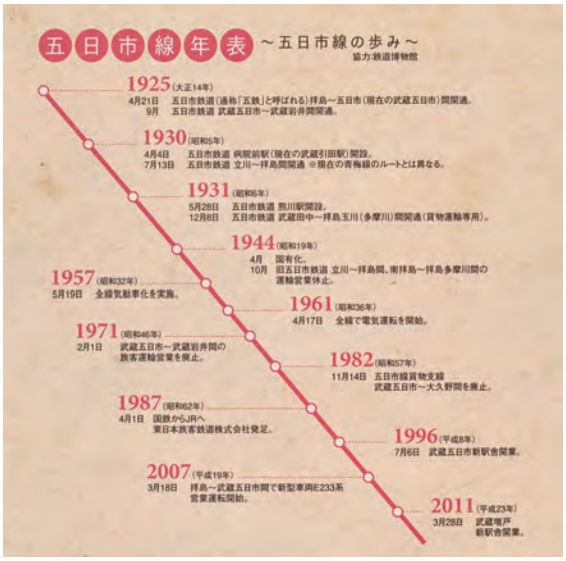
表紙／真如苑総本部（柴崎町）

ネットでも公開しています

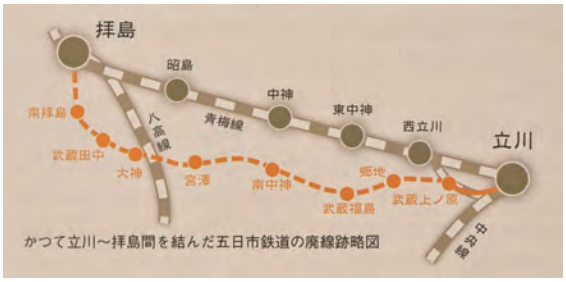
案内人：沼本忠次

五日市鉄道の建設と開業

（拝島、五日市間、武蔵岩井間）



「五日市線のあゆみ」（JR東日本提供）



五日市線廃線路線図（JR東日本提供）

多摩川鉄橋工事

五日市開通55周年記念品

大正10年（1921）7月15日、発起人の紅林七五郎ら12名の申請人に対し、「地方鉄道免許」が鉄道省から交付された。拝島駅を起点とし、五日市駅まで11.1ｋｍ、五日市駅―武蔵岩井駅（大久野線）間2.7kmで構成。それに基づいて、大正11年（1922）5月7日、五日市鉄道設立総会が開催され、本社は五日市町五日市47番地に設置、社長には内山安兵衛が就任し、持株は代表の内山安兵衛1000株、取締役 小机三造1000株、取締役 浅野泰二郎1000株、取締役 紅林七五郎500株、取締役 岸忠左衛門200株、地元の有力者、秋川水力電気会社の地元有志の総動員という体制であった。株主が240名、資本金100万円の秋川水力発電の2倍であったことは、この鉄道事業が地元にとっていかに重要案件であるかという意識の高さがうかがえる。五日市鉄道はこうして、当初は順調に滑り出した。

鉄道建設に着手

ルートの選定については、街道沿いの集落を通る南ルートと、かたや増戸まで一直線に向かう北ルートが検討された。工事費の面から現行の北ルートで落ち着いた。ここには、陳情合戦もかなりあったという。いつの時代でも、鉄道のルートは地元住民にとっては死活問題で、大変重要な案件のひとつであった。

五日市鉄道の社章

工事は大正12年春に着工したが、同年9月1日、関東大震災が発生し、工事も予想以上長く、経費もかかった。特に多摩川に長大鉄橋を架ける工事が難航し、予算も大幅に上回った。拝島駅周辺では、用地の買収に苦難したという。そのため開業1か月ほどは仮設の駅にて対応したという。当初はお祭りの寄付のような感じで資金を募ったが、次第に株主の配当も遅れ、滞ってしまう状態におちいった。大正末期は不景気で、五鉄のような地方の小規模企業の資本力は弱く、経営はたちまち行き詰ってしまった。

役員の中からはもう工事は中断した方が賢明だという意見も多く上がったという。役員の中には私財を投げうって補填したり、大切な秋川水力発電を担保に入れて川崎銀行より金を借り入れたりと、苦しい経営が続いた。そのようななか、当時の財閥、浅野セメント（日本セメント、太平洋セメント）が役員と経営に参加。何とか大正14年4月21日、開業にこぎつけた。

途中駅は東秋留駅、西秋留駅（現秋川）、武蔵増戸駅で、1日6往復の運転でスタートした。しかしこの先、浅野セメントによる経営上の発言権は強くなっていく。

編集部追記

※大正末期の不景気：第一次世界大戦の好景気の後にやってきた戦後不況は慢性化し、大正11年にはその極に達し、各種産業はふるわず、倒産が相次いだ。そこに起きたのが大正12年9月1日の関東大震災だった。多くの火災が発生し、津波が襲い、死者9万余、消失戸数は46万5千、人々の動揺は激しく戒厳令がしかれた。政府の緊縮政策により、対外為替は回復したが、物価は下落、不景気は避けられない事態になっていた。一方鉄骨鉄筋コンクリート造りの需要から浅野セメントの台頭は当然のことと思われる。

［インタビュー］

きらり！この顔

Tachikawa Inside Outside
あの人、この人、立川人 139

ネットでも公開しています

［ 立川に育まれて ㊽ ］

市民と行政をつないでいきたい

宮本直樹さん

1964年生まれ。満61歳。富士見町　富一東協和会会長。生まれたのは大分県だが、育ったのは調布市。30年前から立川在住。自分のことを「新住民」と言う。ボランティア活動を続けてきて、現在は60くらいの団体の役職を引き受けている。決して好んで受けているわけではなく、断ることもあるが、頼まれる件数の方が増えてしまった結果だと言う。落語のような話に、笑いっぱなしのインタビューだった。

トランプの手札のように出てくる名刺

富一東協和会会長、立川市社会福祉協議会 理事、ボランティア・市民活動センターたちかわ 運営委員、立川市民生委員・児童委員協議会 副会長、立川市第1地区民生委員・児童委員協議会 会長、立川市明るい選挙推進協議会 会長、総務省 行政相談委員、法務省人権擁護委員、立川市生涯学習推進審議会委員、立川市社会教育委員、etc

――宮本さんは、社協の職員さんだと思っていました。

宮本　よく言われます。私は、もともとは民間の営利企業のサラリーマンで、20代で中間管理職になってしまったのです。上下からの挟み撃ちにあって己の能力の無さに打ちひしがれて、劣等感の塊のようになっていた時、休みの日に障がい者の方の運転をお手伝いしました。人の役に立てることが嬉しくて、その頃から社協に通ってボランティアを紹介してもらったりしていました。社協に出入りしていて、ボランティアセンターを改革して市民参画の委員会を始めるという時に手伝って欲しいと言われ、まず社協の委員になり、次に法人全体の経営を手伝ってと言われて理事に。今、22年目ですかね。今でも報酬は1円もいただいていません。社協の理事は各界の代表者で構成されていますが、私のようなたたきあげの理事は他にはいません。在任は一番長いですが、格は一番末端の理事です。

「立川ボランティアセンターたちかわ」になったのが24年前。立川にはボランティアセンターがないと誤解されることがあって、最近「ボランティア」を復活させて、「ボランティア・市民活動センターたちかわ」にしました。地域課題をなんとかしようという志ある登録市民団体が134あります。まだ社会制度が確立されていないところと、地域の中で困っている人とか、何か課題を提起した人たちがいろいろ模索する動き、まさにそれが市民活動で、活動することで見えてきます。見えてくると大事だということがわかってきます。すると行政側でも補助金など予算がついて社会システムに変わっていく。最初はアマチュアだったかもしれませんが、経験を積んで専門家集団になっていく、そういう社会制度を作っていくのが目指すところです。

――以前ボランティア活動と市民をつなぐパーティーを開催されていましたね。

宮本　はい。大々的にやったのは「まちパ」ですね。正式名称は「待っています！あなたの地域デビューtheパーティー」。6年やりましたが、飲食を伴うものでしたのでコロナがきっかけで中断していました。社協としては画期的なもので、楽しみながら活動を見てもらうためお酒もだしていました。コロナ後に復活していて、今年も12月に「第3回たちかわCivic Activities Fes!!」という名称で、RISURUホール地下の展示室で開催することになっています。

――宮本さんは、どうしてここまで深く関わることになったのでしょう。

宮本　福祉関係のボランティアをやっていく中で、こうしたことに触れて、市民と行政の協働というのはとても有効だな、大切だなと、自分だけではできないこともっと行政の力を合わせていくことでいろいろできるのだと気づいてからは、行政と市民との協働をお引き受けすることになっていったんです。

――この総務省行政相談委員とは何をなさるのですか。

宮本　基本は国の行政なのですが、自治体行政施策についても生活していく中でおかしい所に市民が気づくわけです。市民感覚で伝えていただいたものを、まずは一番身近な市民目線で相談にのる、そこから今度は行政へ伝える、そういうお役目です。身分的には総務省のボランティアです。

――明るい選挙推進協議会とは？

宮本　現在会長をやらせていただいていますが、各自治会から推薦された明るい選挙推進委員による選挙啓発活動です。選挙にいきましょう、選挙は大事ですよと市民に伝えていく役割で、行政の選挙管理委員会とタッグを組んでやっています。街頭での呼びかけや、学校へ行って主権者教育として模擬投票のお手伝いとか、あるいは投票所の立会人とか。

――社会教育委員とは？

宮本　立川には6つの学習館や、11の学習等供用施設などの生涯学習関連施設が多くありまして、そこの運営が適切に行われているかどうかを市民目線で見て、行政へ提言したりしています。社会教育委員は法律で決められていて、社会教育の立場から教育委員会に助言をしていく役目です。

――富一東町会の会長でもいらっしゃるんですね。

宮本　立川に移り住んだ時からこの町会ですが、約30年前ですからまだ新住民です。町会の総務部長、いわゆる事務まとめ役になったのが20年前です。当時、会長から「宮本さんに総務部長はまだ早いと思うし、反対もあると思うけれど、私はそういうことではなくて若い人を使いたいから」とはっきり言われての就任でした。先輩に「偉そうにして」とか言われていじめられちゃうのかなと思いましたが、覚悟を決めてやりました。コツコツと総務部長を14年間。この町会の「地」の人っているわけです。会長にはこの「地」の人だなと思って、私も会長はこの人にと根回ししたりしていましたが、最後の最後になって、この「地」の人がどうしてもできない事情になったり、なり手がいないので、じゃあ、宮本がやればいいじゃないかということになって、新住民なのになあと思いましたが、私のような無能な者でも地道にコツコツやってきたことが良かったようで、反対なく皆さんに受け入れてもらえて今があります。

――すべてのお役目が自分でやりたいと望んだものではないのだとか。

宮本　そうです。自分があしたい、こうしたいと、ここを目指すというものは一つもありません。たとえば明るい選挙推進協議会もそうです。総務省の所管で全国にあります。多摩地区の連合会の会長は26市で持ち回り、たまたま26年ぶりに立川にそれが回ってきたのが去年でした。会長になるといろいろ、各所での挨拶とか、本当にめんどくさいことをやらされるのです。それをお歴々の80代の皆さんにやらせる訳にはいかない。当時私は富士見町の取りまとめをやっていましたが、まだ60歳になっていませんでしたから格が違うんです。若すぎて。若造がやるポストではない。長老たちがうんと言わないでしょと言ったのですが、宮本ならいいと言っているとの事で。そう言っていたでけるのはありがたいことです。ここで断ったら完全に自己都合だなと。皆さんのお役にたつならと思ったらやらざるを得ない。去年の連合会の会長の役のためだけに引き受けました。本当に想定外のことでした。

――想定外と言いながら、できてしまうのがすばらしいです。

宮本　私、今年61歳なんですけれど、老人クラブ連合会の副会長もやっているんです(笑)。そもそもこの年齢で、老人クラブの会長というのも珍しい。多くは後期高齢者がメンバーですから。私は見た目が思いっきり老けていますから違和感がないみたいです。まだ54歳の頃、わが自治会には老人クラブがなくて、隣接する老人クラブにみなさん分散していました。私は民生委員もやっていたところから、うちの町会でも老人クラブを作ってほしいと自治会の高齢者に言われたんです。隣のクラブに行っているとお客さん気分だ、アウェーだと。作ってよと言うので、規約を作って、市役所に補助金申請して、隣接老人クラブに相談にいって、こういうわけで独立しますと仁義を切って、メンバーに「じゃ、これでお願いします」「ありがとう」ということで民生委員としての役も果たしたなと思ったところで、会計は？会長はどなたが？　と聞いたら、ヤダヤダ、ヤダヤダって成り手がいない。もう勘弁してくださいよ、じゃやらないんですね、ということで相談に行っていた老人クラブ連合会事務局に謝りに行ったんですよ。

「宮本さん、困るよ～もう市役所に報告しちゃったよ。新しいクラブができるなんて今時ないことなんだから、宮本さん、なんとかしてくれ」

って。

「いや、無理です、みんなやらないって言っているから。役員なしのクラブでは？」

「そんなのだめだよ、責任がある」

「責任があるからみんな嫌だっていうんですよ」

「じゃ、宮本さんやって」

「違う、違う、私のこと老けているから老人だと思っているんでしょ、私、まだ54歳ですよ。そもそも老人クラブの会員でもない」

「いや、会員になっていいんですよ。54歳で会長でもいい。その代わり補助金対象からは外してね」

「そんな、会長が補助金対象からはずれているのに補助金申請していいんですか」

「いいんですよ」

もう考えられない。理解不能な話です。数々の不思議の1つですね。老人クラブの連合会の会合に行って、「若造なんで」というと「若いったって60代ってわけじゃないだろう」って、みんな私を70代だと思っているんですよ。50代だなんて誰も思っていない。私はまだサラリーマンでしたから理事会に欠席が多くて、欠席裁判で社会奉仕部長にさせられて、それを6年やっちゃうと、コロナもあって役員がどんどん替わったんです。いつの間にか幹部メンバーとしては私が一番長くなっちゃった。それで結局連合会の副会長に。たぶん、みんな私が61歳だって知らないんです。

――(爆笑)

宮本　いろんなことをやっているから見えること、気づくこと、解ることがあるんです。体験させてもらったことが財産です。大したことはできていないのですが、使っていただいて忙しく走り回れるのは、ありがたいことだと思えているから頑張れています。

街を歩けば
出会いの輪を広げて

ネットでも公開しています

意識高く 真剣に取り組む姿が 美しい

令和８年自衛消防審査会

立川消防署　内藤一宏署長は
「これだけ参加隊が多いということは、事業所の防災意識が高いということです。
それぞれの隊のレベルも非常に高い」とおっしゃいました。
本当に甲乙つけがたい素晴らしい審査会でした。

それぞれの隊の意気込みが、1つひとつの所作に表れていました。どの隊が優勝してもおかしくない。それだけに、ほんの少しのミスが順位に響きます。初めて出場した立川相互病院（Teamたちそう）は初めてとは思えなかったし、災害医療センターも練習を重ねてこられた様子が見えました。立川病院も「優勝狙ってた？」と思わせてくれるほど。病院の初期消火は安全安心な街づくりの初めの一歩です。感動したのは、特別養護老人ホームの砂川園。隊員は、インドネシア人、ベトナム人、日本人の構成です。車椅子で来られた施設の利用者さんたちが応援する中、頑張りました。介護の現場はこうした心の交流で成り立っているんですね。

いつ雨が降ってくるかと心配されましたが、審査会の間は天も味方してくれたようです。宿谷立川市消防団長が「ものすごくレベルが高い」とおっしゃっていましたが、実際、全体のレベルが上がっていて、頂上決戦に絡む隊がいくつも。終わってみれば、やっぱり強いところは強かった。負けて悔しい思いが、来年の勝利に繋がるのでしょう。街の安全安心のために、皆さん、頑張ってください！

［1位］　ららぽーと立川立飛隊

［2位］　立飛ホールディングス　自衛消防隊女子隊

［3位］　立川市役所　一番隊

以下の写真は出場順　（順位はえくてびあんnoteで）

真如苑　男子自衛消防隊

たましん　自衛消防隊

一如社　男子隊

社会福祉法人 桜栄会
特別養護老人ホーム砂川園

表彰式の様子　左は内藤署長

立川拘置所　自衛消防隊

国立市役所　自衛消防隊

立川市役所　二番隊

エキュート立川　自衛消防隊

陸上自衛隊　東立川駐屯地

真如苑　女子自衛消防隊

立飛ホールディングス自衛消防隊　男子隊

ぽっぽや立川

多摩都市モノレール　自衛消防隊

グランデュオ立川店　自衛消防隊

立川病院　自衛消防隊

Teamたちそう

一如社　女子隊

LABI 立川

国立病院機構　災害医療センター
自衛消防隊

ルミネ立川店　自衛消防隊

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。

曙町
- 多摩水族館 …… 524-0288
- すし 魚正 …… 522-3437
- Cut Studio SOFIA …… 528-3241
- 立川市女性総合センター アイム 528-6801
- オリオン書房 ノルテ店 …… 522-1231
- シネマシティ シネマ・ツー 050-6875-3975
- 洋食屋 にゅうとん …… 522-3921
- 喫茶 らんぶしぇいど 080-5507-0810
- 洋膳食堂 新豚亭 …… 524-5370

羽衣町
- 額縁専門店 プリムベール … 528-6789
- 多摩信用金庫 東立川支店 524-0611
- まごころ銘茶 狭山園 …… 527-0146
- ギリシャレストラン SHUPOUL 519-3923
- 林歯科医院 …… 522-5657
- 新鮮野菜・惣菜 立川商店 … 522-3565
- 本・事務用品 泰明堂 …… 522-3353
- 本と文具 ないとう …… 522-3677
- 赤松タバコ店 …… 524-7852
- BB TAKAOKA …… 521-0236
- ハートフルフラワー …… 526-0873
- お好み焼ともんじゃ焼 こけし 526-1267
- 立川熟成寝かせ蕎麦たかや 595-6922

錦町
- 四季魚貝料理 活増 …… 523-0001
- 鳥料理 くし秀 …… 522-7692
- 寿司勝 …… 522-4874
- 中国料理 五十番 …… 522-7472
- トスカーナ 立川 …… 524-1289
- 一六珈琲店 …… 527-1680
- 手づくりみそ 材料専門店 北島こうじ店 524-3190
- new gyoza 1059 餃子天国 526-2283
- バー バル アラディ …… 523-3917
- ふみちゃん KITCHEN …… 595-7277
- ふく よこ山 …… 525-7080
- chichica（チチカ）… 080-5523-0882
- 島想食堂 …… 527-2050
- OLD NEW DINER …… 512-9864
- 元祖５本指ソックス専門店 LASANTE 540-1616
- ホテルマイステイズ立川 …… 529-3111
- ホテル日航立川 東京 …… 521-1111
- MIYAKE BAKERY
- きものはうす 五箇谷 …… 540-8408
- FALCO hair …… 528-2389
- N HAIR WORLD …… 523-5336
- 創作料理 caffe & bar 厨～kuriya～595-7449
- 立川駅泌尿器科皮膚科クリニック 548-8802
- TTM（株） …… 524-5787
- ワインカフェ ビビ立川本店 519-3995
- クラウンベーカリー立川店 526-2226
- 三田花店本店 …… 524-4187
- いわさき痛みの整骨院 …… 529-5123
- にしやま薬局 …… 525-9212
- たましん RISURU ホール 526-1311
- 多摩信用金庫 錦町支店 …… 528-0511
- カワグチオート …… 524-6156
- 立川病院 …… 523-3131
- パン工房 グラーティア …… 512-8667
- そば処 高尾亭 …… 522-2710
- 康復中国気功整体院 …… 529-1088
- Natural Food Restaulant シェいなば 529-5921
- 至誠学舎立川 …… 527-7734

jorakugajo
真如苑提供番組〈常楽我浄〉
スカパー！：529ch
毎週土曜日 朝8時より
ベターライフチャンネルにて放送中
J:COM 多摩：11ch・111ch
放送時間については番組表をご確認ください。
www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

掲載しきれなかった写真や動画、詳しい内容はQRコードからどうぞ

雨ばかりの9月でした

立川でも雨続きの9月でした。本来なら高い青空の下、赤とんぼが群れなして飛んでいるのが立川です。報道によれば、東京では8月27日から9月30日まで連続して雨を観測し、東京都心の日照時間は45.8時間だったそうです。そんな中、少しでも雨が切れると人出はありました。いいお天気だったら、もっと楽しかったでしょうね。

頑張れ、立川ダイス！

10月3日と4日、アリーナ立川立飛で立川ダイス、2026-27シーズンホーム開幕戦が行われました。迎えたのは強豪 熊本ヴォルターズ。リーグ革新で今季からB.LEAGUE ONEで戦っている立川ダイス。昨シーズン、B3で優勝したとはいえ、B1昇格を目指してB2で戦ってきた熊本はさすがに強い。しかも立川ダイス優勝に貢献したLJ.ピークが今季から熊本に。初日は86-109、2日目は86-94。第3クオーターまでリードしていた立川ダイス。第4クオーターで、体力温存していたNo.8 LJ.ピークやNo.11石川海斗が参戦、あっという間に逆転され、追いつくことができないままゲームセットとなりました。陸川ヘッドコーチは、ここで勉強した、必ず勝っていくと力強く話していました。頑張れ、立川ダイス！ 両日とも2500人以上の来場者数。応援も最高でした。

No.0の奥田選手のシュートが熊本に阻まれる

No.11ハリー選手のフリースロー。左、熊本のNo.8がLJ.ピーク選手

立川アスレティックFC 残念でした

現在12チーム中8位の立川アスレティックFC。9月27日に首位の名古屋オーシャンズを迎えてのホーム戦。多くの応援を得て頑張りましたが、前半3点、後半3点、計6点取られて、得点できず終わりました。練習量の違いなのでしょうか。個々の力が出せないまま、終わりを迎えた印象です。6点に抑えられてよかった。次回はもっと応援も頑張りましょう。

横山選手が蹴ったボールを名古屋のゴレイロに阻まれた

名古屋が蹴ったボールをゴレイロの檜山選手が止めた

極地研探検2026

恒例の楽しい一般公開です。極地研は〈見る、聴く、触るで知る〉モノがあるから面白い。今年も来場者の知りたい心を刺激する内容が盛り沢山のイベントとなりました。

極地研は南極だけではありません、北極も

科学館のお土産は外せない

四駆にキャタピラーがついている、南極大陸ならでは（観測棟で）

七番組の秋祭り

昨年はお祭りがなくて淋しかった七番組。今年はお祭り復活です。午後からお神輿が町内を廻り、会場には美味しい食べものが並びます。盆踊りの櫓はないけれど、歌謡ショーがありました。お神輿を運搬するのはご高齢の方が多く、もっとたくさんの若い力が求められます。

立川立飛カップ 体操JAPAN OPEN 2026

一般社団法人全日本体操競技連盟主催の「体操JAPAN OPEN」が、9月12日から21日まで、アリーナ立川立飛で開催されました。取材にうかがった13日は、近隣のお子さんたち120名を対象に、五輪公式体操器具を使う体操教室が。子どもたちは臆することなく、イキイキとあん馬やつり輪、平行棒、床、跳馬などに挑んでいました。またその後、男子体操種目別メダリスト選手権大会が行われ、すばらしい技を見る、すごい機会に恵まれました。

本物の器具で元気にトライする子どもたち

挨拶する塚原直也さん
（2004年アテネオリンピック男子体操金メダリスト）

表紙

真澄寺と弁財天堂の相輪 （柴崎町）

柴崎町に総本部をおく真如苑の初めてのお堂は、真澄寺と言いました。木造で黒い瓦屋根のお堂は、場所を移動して、今は中央線にかかるめがね橋を渡った富士見町側に復建されています。柴崎町側の親苑境内に建立されている現真澄寺の丸い屋根に乗っている相輪。塀の外から見ると、こんな風に弁財天堂の相輪と並んで見えます。手前が弁財天堂の相輪。奥が真澄寺の相輪。お寺の象徴が秋の夕陽に照らされて、きれいに光っています。真如苑は今年立教90年を迎えたそうです。

かたこと

◆国内外で発生した自然災害で被災された方々にお見舞い申し上げ、犠牲となられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます◆立川も雨ばかりでした。でも、雨でも前に進むのが立川。止まらないのも立川です。毎年、自衛消防審査会を見せていただき感動します。練習を始めた時には小さい声しかでなかった女性が、当日は大きな声で号令をかけていたり、外国籍なのに指揮者として立派に務めたり。きっと時間の無い中、あるいは場所の無い中、練習を重ねたのだろうなと背景も見えてきます。だからこそ、応援したい自衛消防審査会◆「スポーツで立川を盛り上げる」有言実行の立川は、多種にわたる競技で立川を盛り上げています。日本ライト級チャンピオン齋藤眞之助選手の2度目の防衛戦が決まりました。2026年12月6日、アリーナ立川立飛で挑戦者は西畑直哉選手。応援したいです◆美味しいものの季節でもある秋です。インフルエンサーが頻繁に取り上げる立川の食。実りの秋に、農産物が豊かな立川は、長雨にもめげず、地場野菜を提供してくれています。野菜が高いけれど、こちらも応援していきたいです◆月刊えくてびあんは500号となりました。そして有限会社えくてびあんの代表が変わります。18年間お世話になりました黒須環が退任、小林誠が引き継ぎ、代表を務めます。どうぞみなさま、引き続きよろしくお願い申し上げます。 えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©
11月号 第43巻 通巻500号

令和8年11月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 小林 誠
企画・編集 えくてびあん編集スタッフ
写真 五來孝平・池田まり
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 ダイオーミウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

TACHIKAWA おいしい時間 ④

ワインカフェ

ビビ 立川本店

ラムとワインと穏やかな昼下がり

赤身が美しい仔羊のもも肉ロースト。
じっくり時間をかけて調理された肉はやわらかく、
噛みしめると、ふわっと上品なラムの香りと肉の旨味。
無農薬、無化学肥料にこだわる農園から仕入れる野菜は
味が濃く、ローストしただけでご馳走。
付け合わせと呼ぶには、もったいないほど。
ソムリエの店主が合わせてくれたのは、南フランスの赤ワイン。
サーブされた瞬間、華やかな香りが広がる。

ワインカフェ **ビビ 立川本店**

立川市錦町 2-3-31 伊藤ビル 1F
TEL 042-519-3995
ランチ　火〜木 11:30〜17:00（L.O.16:00）
※金土〜15:00（close）
ディナー　金土 17:00〜21:30（L.O.20:30）
定休日　日・月・祝